

○ 平成 25 年度事業実施状況概要

1 新総裁の御推戴等

当法人の第二代総裁寛仁親王殿下が御薨去後、平成 25 年 6 月 6 日には文京区豊島岡墓地で「墓所一周年祭の儀」が営まれた。当法人から理事長以下常勤 3 理事が墓前で拝礼した。

創設以来、三笠宮崇仁親王殿下、寛仁親王殿下に総裁としてご縁をいただいていたので、三笠宮家から第三代総裁を御推戴いたしたいと、三笠宮家並びに宮内庁をお願いしてきた。

平成 26 年 1 月 14 日に故寛仁親王殿下の第 2 女子、瑤子女王殿下が御承諾賜り、2 月 4 日付で宮内庁より通知を受け、友愛十字会第三代総裁として正式に決定した。

瑤子女王殿下は、3 月 27 日に開催した平成 25 年度第 3 回評議員会・理事会に総裁としてご臨席いただいた。その際、総裁に役員全員をご紹介した後、御挨拶をいただいた。

2 本年度の重点計画に基づく事業の進捗状況

(1) 職員研修の実施

法人の各施設が、高齢者及び障害者の利用者に対する虐待防止を目的に研修を実施した。

特養「友愛荘」では、園長を中心に研修、防止委員会、苦情解決委員会を定期的に開催した。

港区立障害保健福祉センターは、各部署で研修や勉強会を開催するとともに、「工房アミ」では、虐待防止ワーキングチームを設けて、支援について振り返りの勉強会を実施した。

そのほかの各施設においても虐待防止の研修を行った。

また、国立重度知的障害者総合施設「のぞみの園」主催の「障害者虐待を考える研究セミナー」に、当法人の各施設から計 15 名が参加した。

(2) 給与の見直し

諸手当の見直しを予定していたが、各施設の収支に対応することと、他法人等の情報も参考に必要があるため、各種情報を収集しながら、さらに検討する。

(3) 世田谷更生館改築についての検討

改築については、東京都福祉保健局障害者施策推進部居住支援課担当係とも協議してきたが、なかなか結論が出せなかった。世田谷区保健福祉部にも要望を含めて状況説明しているため、今後も検討を継続する。

(4) 各施設の主要施策

① 世田谷更生館

事業経営の安定化に向け、新規利用者の確保を挙げて、定員 60 名の確保を目指したが、年度末 57 名と目標値を下回ったものの、年度明けに新規 4 名の利用が確定しており、ほぼ達成できた。また、新規事業として、特定相談支援事業の事業開始をめざし、相談員資格研修に 2 名の職員を参加させ準備を進めたが、当法人の地域包括支援センターにおいて、障害者も含めた相談事業を 26 年度より試験的に行うとの情報があり、平成 25 年度の開始は見送ることとした。

② 友愛園

ア 25 年度末の利用者数は、定員 60 名に対し 48 名であった。新規利用者 3 名を受け入れたが 5 名の退所者があり、前年度末比 2 名減となったが、当期資金収支差額は黒字を維持した。

イ 生産活動については、ヴィニール製品・メール作業ともに順調に推移した。売上収入は前年度比 109%を計上し、利用者への工賃も前年度並みの水準を維持することができた。

③ 東京聴覚障害者支援センター

ア 運営委員会で協議検討を行ってきた特定相談支援事業を 26 年 1 月より開始することがで

きた。

イ 東京都による、若年障害者雇用促進事業を利用し、職員一名を採用した。人材の育成と職場の定着に向け取り組んだ。

ウ平成 24 年 10 月の障害者虐待防止法施行後、虐待に関わる利用者の依頼が続いている。平成 25 年度も新たに 1 名の利用があり、今年度は合わせて、4 名の被虐待者の利用支援をした。

④ コーポ友愛

入居者の確保については 2 名の退去者があったが、新規に 2 名の入居者を確保したことで入居者の増減はなかった。休日の入浴サービスの拡大に向け、自動塩素投入装置を導入した。

⑤ 友愛デイサービスセンター

年度当初の利用者数は 18 名であったが、長期自宅療養 1 名・死去 1 名により実質利用者は 16 名となった。安定的な経営を維持するためにも利用者の確保が課題である。下期に作業療法士が無配置の状況もあったが、職員間の連携によって有効性を確保した機能訓練の提供に努めた。巷間では冬期にインフルエンザやノロウイルスなどの感染症が猛威を振るったが、早期より予防対策に努め、施設内での感性を防止することができた。

例年、業務の都合上、年度末に休業日を設けていたが、サービスの向上と利用率の向上のため営業することとした。

⑥ 友愛ホーム

2 年目を迎えたサービスマナー向上の取り組みでは、個人目標を設定し、面接なども実施してより具体的な技術の向上を目指してきた。その結果、第三者評価の職員の言動の項目において前年より高い評価を得ることができた。

⑦ 友愛荘

新たに友愛荘ヴォランティア活動要綱を作成し、生活相談員 1 名をヴォランティアコーディネーターとして配置するとともに町田市ヴォランティアセンターへの継続的募集活動や園近隣町内会の回覧板活用、園独自のヴォランティア教室の開催等に取り組んだ結果、年間目標 50 人を超える 137 人を確保し、行事や日中活動等で活用できた。

⑧ 砧ホーム

経営の安定化として、98%の稼働率を目標に様々な取組を行った。結果は、わずかに 0.1% たりなかったものの 97.9%を達成した。しかしながら、支出が多く赤字決算となった。健全な運営を目指して、収支のバランスを検討する。

サービス面では、長きにわたって取り組みを続けてきた自立支援プログラム 5 ヶ年計画を無事終了した。自立支援が介護ケアの根幹であることを再確認し、今後継続していくこととした。また、看取りケア指針を策定し、10 月より看取りケアを開始した。

⑨ 砧デイサービスセンター

働く家族を支援するために、夕食提供と最大 3 時間延長可能なサービスを定着させたが、平均通所利用者数は、目標を達成することができなかった。

⑩ 港区立障害保健福祉センター 地域活動支援センター

25 年度は、地域活動支援センターとして仕切り直しをし 2 年目にあたり、地域住民への福祉情報提供やヴォランティア養成などの新たなテーマに取り組む体制がようやく整った年となった。また、質量ともにサービスの充実が課題である相談支援事業についても、一定量の結果を示せた。

⑪ こども療育パオ

保護者支援の立場から、日常的に提供している療育活動とその有効性について、わかりやす

く伝えることを意識し、複数の情報発信ツールを組み合わせた提供体制を確立することができた。また、懸案であった重症心身障害児クラスでの母子分離登園については、港区との協議を重ね、安定的に受け入れが可能な児から実施することとし、支援体制の強化に努めた。

⑫ 工房アミ

平成 26 年度に予定されている利用者増に伴い、センター3 階のみなどワークアクティの作業室の一部を工房アミの専有スペースとして改修工事を行った。

⑬ みなとワークアクティ

ワークルーム1を工房アミのデイルーム4に変更するための工事に伴い、備品や資材の移動、不用品の整理を行った。

また生産活動においては、過去最高の売り上げとなった。

⑭ 砧地域包括支援センター

砧まちづくりセンターと一体化するため、平成 26 年 3 月 31 日に移転した。また、平成 26 年度から、対象者を高齢者に限定しない「総合相談モデル事業」を受託することを決定した。

⑮ 砧介護保険サービス

居宅支援事業特定加算Ⅱの取得については、具体的な体制整備、市場調査、事業所の特徴の打ち出し等が必要であることから、次年度も引続き検討を継続することとした。

3 平成 25 年度 社会福祉法人友愛十字会の「目標」に対する進捗状況

区分	方針 No	理事長方針	対象施設	目 標	
				管理項目	結 果
A 経営 財務	A 1	職員研修の実施	全施設	施設長・外部講師講師等による研修	2 事業の進捗状況 (1) 参照
	A 2	給与の見直し	法人 全施設	諸手当等の見直し	2 事業の進捗状況 (2) 参照
B 品質	B 1	ISO 9001:2008 「サーヴェイランス」	全施設	平成 25 年 9 月	審査合格
	B 2	友愛十字会標準の大分類 3 A (施設別の業務手順書) の整備	全施設	平成 25 年 8 月まで	新規 25 件 改定 107 件
	B 3	YS 3 A の整備進捗確認及びその充実のための意思統一の機会として教育委員会「内部監査員勉強会」を開催する。	全施設	自己監査及び相互監査	勉強会・内部監査とも予定通り実施した。
C 人材 育成	C 1	職員に必要な力量を明確にし、計画的に人材育成を行う	全施設	法人内部教育 研究・事例発表会 外部教育 O J T	予定通り実施 予定通り実施 随 時 随 時
D その他	D 1	世田谷更生館改築検討委員会の検討	世田谷施設	世田谷更生館改築について検討	2 事業の進捗状況 (3) 参照

(2) 各種計画の状況

ア 主な会議の開催状況

名 称	開催実績		特 記 事 項
	開催頻度	開催回数	
理 事 会	5 月、11 月、3 月	3 回	定例の理事会を 3 回開催した。
評 議 員 会	5 月、11 月、3 月	3 回	定例の評議員会を 3 回開催した。
苦情解決委員会	適 時	—	苦情申出のあった施設毎に開催した
安 全 委 員 会	奇数月	6 回	夜間防災訓練（5 回）、効果確認のための自衛消防隊訓練（7 回）を実施した。
衛 生 委 員 会	偶数月	8 回	職員の労働安全衛生、施設の環境整備、食中毒対処法、感染対策法の検討を行った。ノロウイルス及びインフルエンザ等への予防対策等を実施した。
教 育 委 員 会	偶数月	6 回	実施状況は、本(2)のウ項に示す。
男女共同参画委員会	偶数月	6 回	福利厚生制度・休暇制度・退職金制度の職員への周知ために、委員内で情報収集、勉強会を行った。
三行事实行委員会	適 時	—	第 1 - 3 を参照
全施設長会議	月 1 回	9 回	平成 25 年度は 9 回開催した。
世田谷施設長会議	月 3 回	27 回	毎週開催、ただし全施設長会議の週は除く

イ 防災訓練の状況

項 目	年間訓練回数 (夜間)：内数 (地域合同)：内数	講 習 会	自衛消防隊活動
世田谷施設	12 回 (4 回) (1 回)	「防火管理者講習」 受講 0 名 「普通救命講習」 受講 17 名	月 1 回の定例訓練の他に、砧町町会、成城消防署との合同訓練を成城消防署主催の「自衛消防訓練効果確認審査」として実施した（年 1 回実施）。防災応援協定を結んでいる町会との連携強化、各役割の再確認ができた。
東京聴覚障害者支援センター	13 回 (9 回) (1 回)	「防火管理者」 受講 0 名 「普通救命講習」 受講 5 名	13 回の訓練中 9 回を夜間に実施した。応援防災協定を結んでいる、町会及び所管消防署との合同訓練を 1 回実施した。
友愛荘	12 回 (10 回) (1 回)	「防火管理者」 受講 1 名 「普通救命講習」 受講 0 名	毎月 1 回は夜間想定での避難訓練を実施するとともに、10 月には町田消防署忠生出張所及び防災協定を結んでいる町田福祉園や地元の図師町内会住民 16 名が参加の合同防災訓練を実施し、協力体制や利用者避難誘導を実践し、それぞれの役割を確認できた。

港区立障害保健福祉センター	12回 (1回) (1回)	「防火管理者講習」 受講 0名 「普通救命講習」 受講 6名	毎月の定例訓練では、火災や地震を想定し、各フロアでの動き方や全体での連携について訓練を実施した。また、委託業者にも積極的に参加を促した。
---------------	---------------------	---	--

ウ 内部教育の状況

教育区分	名 称	実施要領	時間等	聴講・受講者
階層別教育	職員研修 (新入職員研修)	新卒者並びに中途採用者を対象にオリエンテーションを行う	4月＝6.0時間	受講：15名
	職員研修 (基礎講座)	新卒、中途採用の常勤・非常勤の職員を対象	2時間×7回＝14.0時間	受講：21名 修了：19名
	総合合宿研修	リーダー育成をテーマとし、次代を担う中堅職員を対象	8時間×2日＝16.0時間	受講：20名
職種別教育	職員研修 (衛生・救急講座)	直接処遇職員を対象	2時間×2回＝4.0時間	受講：21名 修了：18名
専門教育	会計経営基礎講座	職種を問わず、全職員を対象	2時間×3回＝6.0時間	受講：8名 修了：4名
発表会	研究・事例発表会	平成25年7月、発表件数：2件（東京聴覚障害者支援センターで開催） 平成26年2月、発表件数：3件（世田谷で開催）	発表：20分 討論：10分	出席者 25年7月：30名 26年2月：30名

(3) 苦情解決（匿名による苦情受付）の状況

単位：件数

施設名	苦情受付状況				苦情分類					
	前年繰越	本年受付	解決件数	繰越件数	生活支援	介護	食事	医務	職員対応	その他
法人本部	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)
世田谷更生館	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
友愛園	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
東京聴覚障害者支援センター	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
コーポ友愛	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
友愛デイサービスセンター	0 (0)	0 (11)	0 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (4)	0 (1)	0 (2)	0 (2)	0 (2)

友愛ホーム	0 (0)	0 (10)	0 (10)	0 (0)	0 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (3)
友 愛 荘	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
砧ホーム	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
砧デイサービスセンター	0 (0)	0 (22)	0 (22)	0 (0)	0 (11)	0 (9)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)
砧地域包括支援センター	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
砧介護保険サービス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
港区立障害保健福祉センター	0 (0)	0 (9)	0 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (6)
合 計	0 (0)	1 (53)	1 (53)	0 (0)	0 (17)	0 (13)	0 (2)	0 (4)	1 (4)	0 (13)

注3) 上段は「友愛十字会苦情解決規定」の定めに対応する苦情申込みの件数を示し、下段の括弧内は、前述に相当しないが、匿名を含む個人苦情に相当する件数を示す。なお、括弧内の件数は、前述に相当する苦情件数を含む。

(4) 「友愛十字会標準 (YS)」の整備状況

標準化推進事務局では、「友愛十字会標準 (YS)」のファイルを法人本部及び各施設に備付け、YS 管理者を任命し、新規制定、差し替え、廃棄等のファイル管理を行っている。その成果として、適切な版が、必要ときに、必要なところで、使用可能な状態としており、さらに、コンピュータネットワークを活用し、各施設のクライアント (パソコン) から登録されたYSは自由に検索・閲覧できるコンピュータ環境を整備し、世田谷施設、聴覚障害者生活支援センター、友愛荘及び港区立障害保健福祉センターがネットワークで接続され、YS活用の幅を広げている。

ア 分類別の「新規制定、改定、廃止」の状況

単位：件数

大分類 番号	内 容	前 年 末 保有件数	本 年 度 の 整 備 状 況			本 年 末 保有件数
			制 定	改 定	廃 止	
0	総 則	6	0	3	0	6
1	品質マネジメントシステム	28	0	26	0	28
2	業務管理マニュアル	141	3	12	2	142
3A	指導票・解説書類(施設別)	895	25	107	25	895
4	規程・規則類	55	2	22	1	56
合 計		1125	30	170	28	1127

注1) 施設別の手順書と位置付けた大分類3Aを、前年度から継続して発行し、体系の再整備を順次行ってきた。

1 法人本部

1 役員・評議員等の状況

1 役員及び評議員

(1) 平成25年度の異動状況

平成24年度末で当法人のあて職評議員の石濱信一氏が世田谷区社会福祉事業団理事長を退職されたので、平成25年4月1日付で後任の若林謙一郎氏を評議員に選任した。

また、同じく平成25年度末で若林謙一郎氏が世田谷区社会福祉事業団理事長を退職されたので、平成26年4月1日付で後任の佐藤健二氏を評議員に選任した。

理事・評議員の板山賢治氏が平成25年9月22日にご逝去された。後任には、平成26年4月1日付で、小林和弘氏を理事・評議員に選任した。

平成25年度末で理事・評議員の石井晃氏が専務理事を、また、評議員の多田金稔氏が砧デイサービスセンター長・企画部長を勇退された。後任には、平成26年4月1日付で友愛園園長・経理部長の新垣洋氏を理事に選任した。なお評議員2名は、次期改選期に選任したい。

区 分	定 数	平成24年度 末の現在員数	平成25年度の異動		平成25年度 末の現在員数
			新 任	退 任	
理 事	11	11	—	2	9
監 事	2	2	—	—	2
評議員	23(12)	23(12)	1	3	19(9)

備考 表中、「評議員」欄の数字は、併任する理事数を含むものとし、括弧内の数字は、評議員の専任者を再掲した。

2 総裁及び顧問等

区 分	総 裁	顧 問	参 与
平成25年度現在員	1	—	—

3 平成25年度の役員等の氏名(敬称略)

区 分	氏 名
総 裁	(瑤子女王殿下)
理事・評議員 会長・理事長 理 事	佐々木 典 夫 町 田 英 一 池 堂 政 満 三 根 武 山 崎 敏 遠 藤 浩 福 田 督 男 金 井 博
専務理事 常務理事	石 井 晃 墨野倉 克 則 (10名)
監 事	多久島 耕 治 高 梨 智 弘 (2名)

評 議 員	井 手 精一郎	高 木 金 次	森 野 亮 一
	寺 山 久美子	内 藤 壽 昭	高 橋 輝 雄
	金井Pak雅 子	多 田 金 稔	桂 川 直 幸
	新 垣 洋	江 藤 文 夫	若 林 謙一郎
			(12名)

4 職員

事業所名	職員区分	平成24年度		平成25年度			
		年度末(3月31日)		4月1日～3月30日の		年度末(3月31日)	
		人員数	3月31日付 退職及び 異動減員	採用及び 異動増員	退職及び 異動減員	人員数	3月31日付 退職及び 異動減員
本部	常	8名	1名	1名		8名	
	非	2名	1名			1名	
世田谷更生館	常	9名		2名		11名	1名
	非					名	
友愛園	常	16名	1名	5名	6名	14名	
	非	5名	2名	7名	4名	6名	1名
東京聴覚障害者支援センター	常	11名	1名			10名	
	非	11名				11名	
友愛ホーム	常	14名	1名	3名	1名	15名	2名
	非	5名	1名			4名	
友愛荘	常	34名	3名	17名	9名	39名	2名
	非	11名	4名	5名	3名	9名	
砧ホーム	常	31名	1名	6名	4名	32名	3名
	非	8名		3名	2名	9名	2名
友愛デイサービスセンター	常	11名		2名	2名	11名	1名
	非	5名	2名	5名	4名	4名	2名
砧デイサービスセンター	常	16名		2名	2名	16名	1名
	非	12名	2名	6名	3名	13名	3名
コーポ友愛	常	1名				1名	
	非	1名	1名			名	
砧地域包括支援センター	常	5名				5名	
	非					名	
砧介護保険サービス	常	2名				2名	
	非					名	
港区立障害保健福祉センター 地域活動支援センター	常	19名	1名	1名		19名	2名
	非	4名		4名	1名	7名	1名
工房アミ	常	26名	1名	3名		28名	2名
	非	3名	1名	1名	1名	2名	
パオ	常	26名	4名	7名	3名	26名	2名
	非	5名	3名	5名	1名	6名	4名
みなとワークアクティ	常	7名	2名	2名		7名	1名
	非	1名	1名			名	
友愛書房	常	1名				1名	1名
	非	2名				2名	
合計	常	237名	16名	51名	27名	245名	18名
	非	75名	18名	36名	19名	74名	13名

備考 1 各施設の職員数欄の上段は常勤職員、下段（網掛け部分）は非常勤職員、嘱託職員、及び契約社員を掲載している。

2 法人内の施設間の異動は、便宜上表中の「採用」欄に「転入」を、また、「退職」欄に「転出」を含めて計上した。

2 役員会の状況

1 平成25年度第1回評議員会・理事会

- (1) 開催年月日 平成25年5月29日(水)
- (2) 開催場所 こどもの城 9階 906号室(渋谷区神宮前5-53-1)
- (3) 議案
 - 第1号議案 平成24年度事業報告(案)について
 - 第2号議案 平成24年度各会計収支決算(案)について
 - 第3号議案 諸規程の一部改正(案)について
 - (1) 職務権限規程
 - (2) 社会福祉法人友愛十字会就業規則
 - (3) 社会福祉法人友愛十字会給与規程
 - (4) 社会福祉法人友愛十字会臨時職員就業規則
 - 第4号議案 評議員の退任及び選任について
 - 報告事項
 - (1) 平成24年度 東京都保健福祉局の高齢施設実地検査に対する改善状況について
 - (2) 東京聴覚障害者支援センターの新事業(指定特定相談支援事業)の設置計画について

2 平成25年度第2回評議員会・理事会

- (1) 開催年月日 平成25年11月20日(水)
- (2) 開催場所 こどもの城 9階906号室(渋谷区神宮前5-53-1)
- (3) 議案
 - 第1号議案 瑤子女王殿下の総裁推戴について
 - 第2号議案 平成25年度事業報告(中間)(案)について
 - 第3号議案 平成25年度各会計収支補正予算(案)について
 - 第4号議案 諸規程の制定及び一部改正(案)について
 - 1 制定
 - (1) コーポ友愛運営規程
 - 2 一部改正
 - (1) 経理規程
 - (2) 就業規則
 - (3) 非常勤職員就業規則
 - (4) 給与規程
 - (5) 東京聴覚障害者支援センター運営規程
 - (6) 友愛デイサービスセンター運営規程
 - (7) 友愛デイサービスセンター短期入所事業運営規程
 - (8) 砧デイサービスセンター運営規程
 - (9) 工房アミ運営規程
 - (10) みなとワークアクティ運営規程
 - (11) 指定相談支援事業運営規程
 - (12) 地域活動支援センター運営規程

第5号議案 施設長の任免について

3 平成25年度第3回評議員会・理事会

- (1) 開催年月日 平成26年3月27日(木)
- (2) 開催場所 こどもの城 9階906号室(渋谷区神宮前5-53-1)
- (3) 議案

第1号議案 評議員・理事の退任及び選任について

第2号議案 諸規程の一部改正(案)について

- (1) 定款
- (2) 職務権限規程
- (3) 役員の報酬及び給与に関する規程
- (4) 友愛園運営規程
- (5) 東京聴覚障害者支援センター運営規程

第3号議案 平成25年度各会計収支補正予算(案)について

第4号議案 平成26年度事業計画(案)及び平成26年度各会計収支予算(案)について

第5号議案 施設長の任免及び再雇用について

3 本部事業等の実施状況

1 身体障害者更生援護啓蒙普及事業

- (1) 第38回合同運動会では、瑤子女王殿下が実行委員長とし参加され、例年のように司会進行を務められ、10団体657名(元柏朋会会員も23名参加された)の参加を得て、個人戦6、団体戦3の各競技を行った。例年と同様に皇宮警察本部音楽隊の華やかな演奏と学習院大学応援団の応援が印象的な大会であった。

① 期日 平成25年10月13日(日)

② 会場 世田谷区総合運動場体育館

③ 主催 合同運動会実行委員会

友愛十字会、世田谷区社会福祉協議会、世田谷区身体障害者福祉協会、厚生車輛福祉協会、ガールスカウト東京都第61団・72団・117団、ボーイスカウト世田谷第10団、世田谷区I K K福祉協会、日本体育大学社会体育研究会、学習院大学応援団、慶応義塾大学ライチウス会

④ 後援 世田谷区

⑤ 参加者 657名

うち、当法人よりの参加者

利用者 (障害者) 51名

(高齢者) 53名

職員 80名

計 184名(28%)

- (2) 第47回宮様チャリティボウリング大会及び第37回障害者ボウリング大会への協力

瑤子女王殿下がご臨席になられた。当法人は、社団法人日本ボウリング場協会主催の宮様チャリティボウリング大会及び障害者ボウリング大会に協力した。一般の部では、東北、関東、東海、

関西、四国、九州から男子 245 名と、女子 133 名が参加した。障害者の部では、男子 93 名、女子 24 名が、プロボウラーから指導を受けた後、障害者の大会でハイレベルな熱戦を展開した。終始、和やかな雰囲気であった。

- ① 期 日 平成 25 年 11 月 24 日 (日)
- ② 会 場 品川プリンスホテルボウリングセンター (港区高輪 4-10-30)
- ③ 主 催 日本ボウリング場協会 (顧問 佐々木典夫会長)
- ④ 協 力 社会福祉法人友愛十字会
- ⑤ 参加者 北海道、東北、関東、東海、関西、四国、九州より各地区の予選通過選手及び団体推薦、障害者推薦の 378 名が決勝戦に臨み、障害者は関東から九州までの 117 名が参加した。うち、当法人からは、23 名 (20%) が参加した。
- ⑥ 優勝者 ア 宮様チャリティボウリング大会
男子の部 菊池 勇人 (愛 知) 214 点
女子の部 内藤 真裕実 (東 京) 236 点
イ 障害者ボウリング大会
男子の部 田口 圭一 (聴覚障害) 千 葉 473 点 (2 ゲーム)
女子の部 松清 俊子 (視・聴覚障害) 愛 知 385 点 (2 ゲーム)

2 その他の事業

地域との協力関係の確保について引き続き努めた。

世田谷施設、板橋区の東京聴覚障害者支援センター及び町田市の友愛荘は、それぞれ地域の町内会・商店会、後援会、ヴォランティア、施設利用者の家族等の参加を得て、当初の事業計画どおり行事を実施した。また、世田谷施設では今年度から新たに、ご支援等をいただいているヴォランティアや関係団体の皆さんに、1 年間の感謝の気持ちを表す「感謝の集い」を開催した。

(1) 世田谷施設

① 盆踊り大会の開催

恒例の盆踊り大会は、世田谷施設、友愛十字会后援会、砧町町会及び地元商店会の協力を得て実施した。砧地区では一番早い時期の開催であり、地域の方々をはじめ、大勢の人達で踊りの輪ができ、模擬店などで大いに賑わった。

- ア 日 時 7 月 18 日 (木)、18:00~21:00
- イ 場 所 友愛十字会中庭
- ウ 主 催 友愛十字会、友愛十字会后援会
- エ 協 賛 砧町町会、TMC通り商店会
- オ 参加者 1,942 名 (外部のみ)

② 友愛ふれあい祭り

友愛ふれあい祭りは、台風が見込まれていたため参加者が少なかったが、お年寄りや、障害のある利用者が日常生活の中で取り組んだクラブ活動や、各種行事、授産訓練等の成果等を施設内外で紹介する行事である。その他、看護師による健康相談や機能訓練士のマッサージ、ミニコンサート、模擬店、バザーなど、地元商店会、利用者家族、地域住民や、ヴォランティアの方々と共同で開催し、施設と地域の相互理解と交流を深める楽しい催しであった。

- ア 日 時 10 月 27 日 (日)、10:00~15:00
- イ 場 所 友愛十字会施設内及び中庭

- ウ 主 催 友愛十字会
- エ 協 賛 友愛十字会後援会、砧町町会、TMC通り商店街
- オ 参加者 577名 (外部のみ)

③ 感謝の集い

感謝の集いは、法人及び世田谷施設が日頃から、多くのヴォランティア、関係団体や地域の皆様から多大なご支援とご尽力をいただいて法人・施設運営を行っており、これらの方々に1年間の感謝の気持ちを表すことを目的に、今年度初めて実施をしたものである。会場も狭隘であったが、参加いただいた皆様から大変好評であり、来年もぜひ開催してほしいとのご意見も頂くことができた。

- ア 日 時 12月13日(金)、15:30~17:00
- イ 場 所 友愛十字会 別館2階会議室
- ウ 主 催 法人・世田谷施設
- エ 参加者 招待者数 88名
出席者 43名
職員 22名

(2) 世田谷以外の施設

本年度に地域との交流を目的として実施した主要行事は、次のとおりである。

① 東京聴覚障害者支援センター

- ア 盆踊り大会 7月27日(土)
- イ 餅つき大会 1月12日(日)
- ウ ヴォランティアの受入れ(学習、盆踊り・踊り指導、外出支援、ほか諸行事協力)

② 友愛荘

- ア 地域交流納涼盆踊りの集い 8月7日(水)
- イ ヴォランティアの受入れ(各クラブ活動、ほか諸行事協力)
- ウ 近隣町内会への行事参加
 - ・ 忠生4丁目納涼盆踊り 7月27日(土)
 - ・ 図師町内会納涼盆踊り 8月3日(土)
 - ・ 忠霊地区納涼盆踊り 8月31日(土)
 - ・ 熊野神社山車巡行 9月7日(土)

③ 港区立障害保健福祉センター

- ア ヒューマンぷらざまつり 10月27日(日)
- イ ヴォランティアの受入(アミ、アクティ、パオ、地活センターでの支援補助)

3 施設及び設備の整備状況

本年度、本部及び施設において助成金等で整備を行った状況は、次のとおりである。

(1) 助成金等による整備 (単位：千円)

区 分	整 備 事 項 (助 成 者)	整備を必要とする 理由・内容	請負業者	金 額
世田谷更生館	清水基金作業用設備購入事業(授産用貨物車両の整備)	授産作業において重量物の運搬が増大したために整備した	いすゞ自動車 首都圏株式会社	助成金 3,200 自 己 1,800 計 5,000

東京聴覚障害者支援センター	東京都若年障害者雇用促進事業（情報伝達機器の整備）	若年障害者（聴覚障害者）の雇用にあたり情報通信の補助のため整備した。	ダブル・ピー株式会社	助成金 580 自己 0 計 580
計	2件			助成金 3,780 自己 1,800 計 5,580

(2) その他の整備

(単位：千円)

区分	施設整備・設備の名称	設備内容	契約者	所要額
世田谷施設全体	空調設備の整備	冷温水発生機 3 号機のオーバーホール	パナソニック ES 産業システム	6,090
友愛園	浴室の整備	脱衣場の床の張替工事	海藤工務店	300
	居室の整備	照明器具の追加設置工事	新井電気	882
	ドラム式洗濯機の設置	老朽化した洗濯機の更新	(株) コジマ	108
コーポ友愛	喫煙室の整備	喫煙室ドア交換	海藤工務店	187
	浴室の整備	通風孔と換気扇の設置工事	新井電気	53
	浴槽の整備	全自動滅菌装置の新設	東京北研(株)	945
友愛ホーム	居室のリフォーム（和室の洋室化）	畳の居室 2 部屋を床張りにした。	大槻ホーム シミズ建築商会	401
砧ホーム	防火扉電子錠設置	認知症高齢者の離設予防対策	日本電子工業株式会社	190
砧デイサービスセンター	送迎車両の購入	車椅子リフト車	日産プリンス 東京販売(株)	3,201
砧地域包括支援センター	砧まちづくりセンター内へ移転	新拠点用サーバー構築、 新事務所用什器類、引越し費用	(株)日立システムズ 他	1,030
友愛荘	洗濯室の整備	大型洗濯機の購入	ワタキューセイモア (株)	1,423
	居室環境の整備	電動リモコンベッドの購入	ワタキューセイモア (株)	11,596
	厨房設備の整備	テーブル型ブラストチラーの購入	ホシザキ東京 (株)	998
	食堂の整備	食堂用テーブルの購入	メディケア (株)	1,734

東京聴覚障害者支援センター	手すり移設、点字ブロック設置整備	玄関前通路の手すりを移設し、通路を広げた。点字ブロックを設置し安全性の向上を図った。	(株)リビング	1,085
	LED 蛍光灯取替	環境改善及び経費節減を図った。	(株)小林洋行	540
	パソコン更新	XP 機種をサポート保障が切れるため機種の更新をした。	デル(株)	677
	冷蔵ケース更新	厨房用冷蔵ケース、給湯器が経年劣化により使用できなくなったため。	ホシザキ電機(株)	227
港区立障害保健福祉センター	アミ活動室の整備	3 階アクティ作業室をアミ活動室にリフォーム	武井工務店	港区負担
	PCサーバーのセキュリティ強化	港区基準に合わせたセキュリティ強化のため、サーバー交換	Vecソリューションズ	10,335
計	21 件			42,002

(3) 平成 25 年度各施設別及び設備実施一覧

(単位：千円)

区 分	種 別	件 数	費 用 内 訳		
			助成金等	施 設	計
世田谷施設全体		1	0	6,090	6,090
世田谷更生館	身障	1	3,200	1,800	5,000
友 愛 園	身障	3	0	1,290	1,290
コーポ友愛	福祉ホーム	3	0	1,185	1,185
友愛ホーム	養護	1	0	401	401
砧ホーム	特養	1	0	190	190
砧デイサービスセンター	老人デイ	1	0	3,201	3,201
砧地域包括支援センター	老人居宅	1	0	1,030	1,030
友 愛 荘	特養	4	0	15,751	15,751
東京聴覚障害者支援センター	身障支援	5	580	2,529	3,109
港区立障害保健福祉センター	身障	2	0	10,335	10,335
計		23	3,780	43,802	47,582

4 施設の概況

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区 分	施設の種別 (開設年月日)	所 在 地 (電話番号)	土 地	建 物	利用者 定 員
社会福祉施設	指定障害福祉サービス (S37. 9. 28)	〒157-0073 東京都世田谷区砧	5,954.25	m ² 2,157.36	60
	障害者支援施設 (S53. 5. 1)	3-9-11 法人本部 (代表電話)		2,087.94	60
	身障福祉ホーム (H 3. 8. 1)	(03-3416-3164)		781.90	20

	友愛デイサービスセンター (センター長 木村 浩二)	身障デイサービス (H 4. 4. 1)			321.76	(20)
	友愛ホーム (園長 金井 博)	養護老人ホーム (S31.12.24)			2,086.59	70
	砧ホーム (園長 宮崎 浩)	特別養護老人ホーム (H 4. 4. 1)			1,865.56	60
	砧デイサービスセンター (センター長 多田金稔)	老人デイサービス (H 4. 4. 1)			540.89	(60)
	砧地域包括支援センター (センター長 多田金稔)	老人居宅介護等事業 (H18. 4. 1)			8.88	—
	東京聴覚障害者支援センター (所長 高橋秀志)	障害者支援施設 (S40. 7. 25)	〒174-0056 東京都板橋区志村 2-19-5 (03-3967-0051)	(913.78)	(980.47)	30 (6)
	友愛荘 (園長 田城 利明)	特養老人 (S49.11. 1)	〒194-0203 東京都町田市西師町989 (0427-93-7530)	4,550.80	2,059.80	78
	港区立障害保健福祉センター 地域活動支援センター (施設長 松本光正)	(H10. 4. 1) 地域活動支援センター				
	こども療育 パオ (施設長 田口美登里)	療育発達相談	〒105-0014 東京都港区芝1-8-23 (03-5439-2511)	(4380.06)	(24321.61)	
	工房アミ (施設長 太田政美)	生活介護事業所				(40)
	みなとワークアクティ (施設長 藤田康子)	就労継続支援B型事業所				(40)
	計			10,505.05 (5,293.84)	11,910.68 (25,302.08)	378 (166)
事業所	第一作業所(友愛書房) (責任者 専務理事 石井 晃)	身障法第22条の売店 (S25.12. 1)	〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関 1-2-2 中央合同庁舎5号館B1F (03-3591-4822)			
	砧介護保険サービス (センター長 多田金稔)	居宅介護支援事業 (H12.4.1)	〒157-8575 東京都世田谷区砧 3-9-11 (03-3416-3164)			

合 計			10,505.05 (5,293.84)	11,910.68 (25,302.08)	378 (166)
-----	--	--	-------------------------	--------------------------	--------------

備考1 土地・建物欄の（ ）は指定管理施設の面積

備考2 東京聴覚障害者支援センターの土地と建物は東京都所有のため（ ）で記載している。

備考3 定員欄の（ ）は通所定員

備考4 世田谷更生館は平成20年9月まで入所定員50名、通所定員15名の身障授産施設として運営してきたが、平成20年10月から定員60名の障害者支援施設に移行した。